

「励みいそしみ労きて」

校長 曾我 茂樹

「励みいそしみ労きて」青海中校歌1番の一節です。初めて聞いたときに「労きて（いたづきて）」のところが特に印象に残りました。古い言葉のようで、辞書を引くと「あれこれと心をくたく、努める」「世話をする、いたわる」などの意味があることが分かりました。1学期を振り返ると、部活動に励む姿、生徒会活動に心をくたき、みんなのために頑張る姿など、随所に校歌の精神が発揮されていたと思います。もちろん勉強にいそしむ姿も見られました。

このような生徒の様子を見ていて特に感じたことは、「さらによくなろう」「もっとよくしよう」という向上心です。部活度の壮行式では「今までで以上の成績が目標です」「自己ベストをめざします」など、前向きな言葉が多く聞かれました。また、今年度の生徒会活動のスローガンは「もっと、信頼・活気・はじめ」です。現在の自分たちの姿に満足せず、さらに高いレベルを目指そうという気持ちが強く感じられます。

ところで、先日学校評議員会を開催し、評議員の方々から学校の教育活動について多くのご意見をいただきました。その中で、「努力している子どもたちを大人が励まし頑張りを認めることの大切さ」や「生徒同志が互いの頑張りを認め合える環境づくりの大切さ」などが話題になりました。これらは、子どもたちの中にある「もっと向上しよう」という気持ちを育てていく上で、貴重なご意見であったと思います。夏休みに入りますが、学校では2学期に向けて青中生をさらに向上させるための準備をしていきたいと思っています。

1学期の間、地域の皆様、保護者の皆様からは青海中学校の教育活動に対して大きなご支援をいただきました。子どもたちの活動に対して多くの激励をいただいたことと合わせて感謝申し上げます。夏休みの間も、引き続き地域での子どもたちの「見守り」と「声かけ」をお願いいたします。お気づきのことがありましたらいつでも学校にご連絡ください。